

共用BL (BL38B1, BL41XU)利用に関するお知らせ

2017/9/30 JASRIタンパク質結晶解析推進室

ビームライン利用にあたって以下の注意事項がありますのでご確認をお願い致します。ご質問等は、bioxtal@spring8.or.jpまでお願いします。

1. ビームタイム開始時刻について

BL38B1はJASRI利用推進部から通知されたビームタイムから**30分前倒し**した開始時刻で運用致します。

[BL38B1]

9:30~

[BL41XU]

第1シフト：10:00~

第2シフト：18:00~ (フィリング変更日は18:30)

第3シフト：2:00~

(1.5シフトのユーザーが1日に2組割り当てられている日は、夜のユーザーの開始時刻は22:00~となります。)

2. ビームライン調整の時間について

午前開始のビームタイムの最初の30分程度はビームライン調整に利用させていただきます。フィリング変更等、ビーム入射が行われる際も原則としてこのルールで実施いたします。本調整は皆様の測定に必要な作業です。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

3. ビームタイム有効利用のためのユーザー間の相互連絡についてのお願い

- (1) 予定より早く終了した時は、その日の他のユーザーに連絡し、実験を始めてもらうなどしてビームタイムの有効利用にご協力ください。連絡が付かなければそのかぎりではありません。(書面上の使用シフト数は実績ではなく、事前に配分された名目どおりと致します。利用料についても同様の扱いと致します。※ただし成果専有課題は除きます。)
- (2) 当事者間の話し合いで、ユーザー間の利用時間の入れ替えは可能です。異なる日に配分されたユーザーと入れ替える場合は、原則として10日前までに、ビームライン担当者と利用推進部に必ずご連絡下さい。
- (3) ビームアバウト等にとまなうビームタイムのロス、ユーザー間の話し合いで調整していただくようお願い致します。

4. ビームラインの引き継ぎについて

- (1) 原則として午前開始のビームタイム以外は、スタッフは立ち会いません。

- (2) それ以降のシフトのユーザーの方で、スタッフによる説明や測定のサポートが必要な方は、事前に担当者までご相談頂きますようお願い致します。
- (3) 夜間のビームタイムや週末のビームタイムには、極力ご利用経験のある方が来所して実験に立ち会うようにして下さい。深夜・週末のスタッフの負担を軽減するためにご協力をお願い致します。

5. ドライシッパー等の送付先について
送付先は、以下のようになります。

〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1
(公財) 高輝度光科学研究センター
利用推進部気付 BL〇〇 △△宛
(〇〇はご利用するビームライン名、△△はユーザーご本人の名前)

詳細は下記サイトをご確認下さい。
https://user.spring8.or.jp/?page_id=5543#item04-03

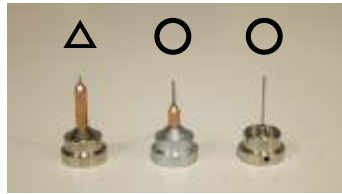
6. BL38B1利用の際の注意事項

- (1) サンプルチェンジャーSPACEは実験ステージ上に常設し、いつでも使える状態になっておりますが、事前にご利用する旨ご連絡いただいた方が円滑にご利用いただけます。なお、ビームラインBL38B1内側室のマウンターロボット(サンプルチェンジャー用試料カセットへの試料の装填を行う装置)の利用をご希望の方は、ビームタイム1週間前までにご連絡ください。
- (2) 顕微分光装置の利用が可能です。使用には以下の制限があります。
 - ◇ サンプルチェンジャーの併用はできません。
 - ◇ CCD検出器の最短カメラ長は120mm程度に制限されます。

7. BL41XU利用の際の注意事項

- (1) ゴニオメータへのサンプルマウント
原則として手動によるマウントは禁止とし、全てのユーザーにサンプルチェンジャーを利用していただきます。
- (2) Heクライオ装置の利用について
Heクライオ装置の利用が可能です。Heガスの消費量を把握するため、ビームタイムの3日前までに、担当者に利用する旨ご連絡いただくようお願いいたします。また、その際にHeクライオの利用時間に関してもお知らせ下さい。

また、Heクライオ装置を利用する場合には銅スリーブの無いピン、もしくは銅スリーブの短いピンの利用を推奨します。(50K以下の極低温で利用する際に銅の部分で気流が乱れ、霜が付きやすくなるためです。大きな径のループを使用する場合には特に注意が必要です)



Heクライオ使用時
(窒素クライオ使用時はこの限りではありません)

8. ビームラインPCのアカウントについて
ビームラインの全てのLinux PC(共通計算機室を含む)は、ユーザーグループごとに異なるアカウントでログインします。初めてご利用になるユーザーには、初回来所時に使用するアカウント（ユーザー名と初期パスワード）を通知します。2009B期以降に課題が採択され既にアカウントを発行されている方は、同じアカウントでのご利用となります。なお、**前回の利用から1期以上課題がない場合、アカウントのパスワードが初期化されます。**
9. 共通計算機室の利用について
BL38B1実験ホール外側室（D10）には、解析用の共通計算機とデータ転送用PCが整備されております。BL26B1/B2, BL32XU, BL38B1, BL41XUの共同利用ユーザーの方は自由にご利用頂けます。
10. その他
 - (1) 試料運搬用液体窒素容器に関する注意点
使用前に、十分な時間液体窒素温度に保てることをご確認ください。**液体窒素充填後に容器表面が結露するような断熱真空の悪化した容器を使用した場合、温度の上昇により測定試料が損傷することがあります。このようなドライシッパーは、決して使わないでください。**
 - (2) 高性能顕微鏡の利用について
2種類の高倍率顕微鏡を準備しています。ビームラインの近くに移動して利用することも可能です。複数のユーザーが希望される場合には、時間を調整してお使い下さい。
オリンパス 実体顕微鏡 オリンパス SZX16
キーエンス デジタルマイクロスコープ VHX-2000